

## 理数科 出前講義を実施しました。

11月7日（月）理数科1、2年生を対象とした出前講義を実施しました。

○講師 沓水 祥一 氏

（岐阜大学工学部 化学・生命工学科 教授）

○題目 身近にあるけど意外に知らないアイオノマー樹脂

○内容

ポリ袋、食品包装用フィルム、ゴルフボールなど、身近にはさまざまなポリマーが利用され、日常生活を豊かにしています。今回の講義では、イオンの特性を用いたポリマー「アイオノマー樹脂」について、透明性や弾性を生じるしくみを、高校の化学の内容に触れながら説明をして

いただきました。大学で研究されている超延伸性や自己修復性アイオノマーについての興味深い話も聴くことができました。

講義の終わりに学びに対するメッセージを送っていただき、生徒たちの印象に深く残りました。

「直ぐにわからなくてもへこたれない『長く考えられる粘り強い頭』が必要」  
「基礎を学んだうえで、常識を疑え！！多くのことが実はわかっていない。そこが面白い」

○生徒の感想（一部抜粋）

・自分の身近にある物質の凄いい仕組みに驚いた。また、触ってみることで違いを感じることができた。プラスチックは日常にとっても多くあるので、種類ごとの差などが理解できた有意義な講義だった。

・実際にアイオノマーとポリスチレンを比べて透明性を見たり、ゴルフボールや輪ゴムにもその技術が活かされていると知って、自分達が思っている以上に身近なものだと実感できた。



• 今まで化学科について、研究の話を聞いたことがなかったので、とても興味深かった。プラスチックやゴムなどいろいろな物質の性質をもつアイオノマーの凄さを知った。それを作ることができる化学という分野はとても楽しそうだと思う。

• ポリエチレンの一部を変えることで、性質が変わることに驚きました。生物でなくても、化学技術によって物が修復することは初めて知ったので、とても興味を持ちました。

• すぐに諦めずに粘り強い頭で勉強していきたいと思いました。

• 「基礎を学んだうえで、常識を疑え…」という言葉に、自分も未知なことにも、どんどん挑戦していきたいと思いました。

